

会 議 録		令和 5 年 2 月 27 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府下鴨警察署協議会（令和 4 年度第 4 回）		
開催日	令和 5 年 2 月 15 日（水曜日）		
時 間	午前 10 時 15 分から午前 11 時 50 分までの間（95 分）		
場 所	京都府下鴨警察署 道場		
出席者	松本会長、渡邊副会長、岩渕副会長、安達委員、種田委員、川西委員 寒河江委員、三浦委員、近藤委員、小山委員 （欠席 長谷川委員、竹中委員、鞍谷委員） 計 10 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴相談係長 計 10 人		
諮 問 事 項	下鴨警察署における取組状況について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長		
	諮問事項説明 下鴨警察署における取組状況について～各課長 【委員】 各部門ごとに、昨年の取扱状況、今年の具体的施策等の説明を受けたが、改めて警察の取り組む範囲が広範にわたることを再認識し、大変な仕事だと感じている。私は消防分団団長として活動しているが、今年 1 月に火災があった際、多数の消防隊が出動鎮火に当たったが、その際も警察において現場における交通整理等をしてもらった。大変有り難く感じた。また、今年になり初めての試みであったと思うが、府警とタイアップし、消防学校で火災現場における交通整理等の訓練を実施した。大変勉強になった。今後もこれらの訓練や連携を行い、今後の業務に反映したい。 【委員】 犯罪検挙はもとより犯罪抑止に向けた広報活動等、様々な活動が行われていると知った。犯罪に遭わないためにもチェックポイント等両親等も含め、周りの人にも機会があれば伝えていきたい。		

会 議
内 容

【委員】 行政に携わる者として、各種業務において警察との接点は切り離せないものであり、あらゆる施策においても情報共有が必要であり、連携がとれてこそ、地域の安全安心が保たれるということを日々実感している。犯罪の大半を占める自転車盗の発生の抑止にも、行政や警察、大学等教育機関がタイアップして、現場の状況を確認、検証を行い、抑止に向けた対策を継続して行うことが大事だと感じている。見せる防犯についても警察の指導を受けながら、地域住民の方が注意するきっかけ作りを生み出すことも大事だと考えている。また、特殊詐欺防止のための「防犯機能付き電話」の普及、補助事業等を警察等と連携して事業を進めている。問い合わせが多く、関心度も高いため、徐々に防犯意識が浸透しているものと考えている。特殊詐欺被害の抑止のため引き続き警察との連携を深めながら事業を進めていきたいと考えている。

【警察】 警察としても、情報を共有しながら引き続き行政と連携し、犯罪抑止に向けた活動を推進していく。

【委員】 司法に携わるものであるが、警察の業務が広範囲に及ぶことを痛感するとともに、これまでの犯罪の発生状況等を分析、検討した上において、検挙はもとより、予防対策として創意工夫した広報活動を行っておられることに改めて敬意を感じた。コロナ禍における社会情勢の変化、また、急速なSNS等デジタル化社会における犯罪の拡大が懸念される。常に現状に目を向け、情勢に反映したタイムリーな分析、対応が重要であるとの説明を受けたがその通りだと思っている。最後に印象に残ったことは、警察の各種施策が「地域との連携」ということを最重視されていることであり、素晴らしい取組だと感じた。我々もそういう取組が必要であることを再認識した。

【委員】 宿泊業に携わる者であるが、これまでも企業暴力、暴力団の追放の面からも、警察から指導を受けているが、引き続きよろしくお願ひしたい。最近の話題は、「強盗」であり、住民の恐怖心と関心度が高いと思う。施策にある地域と連携を取ってもらい、身近な情報を発信、注意喚起を積極的に行ってほしい。各種団体に声掛けしてもらおうと、多少なり協力、支援もあると思う。私自身、ロータリークラブにも参加しているため、会合等の際に講話してもらえればよいと思う。

【警察】 ご協力に感謝したい。今後とも効果的に活動を推進していく。

【委員】 自治連合会の活動をしているが、コロナ禍の中で住民の結束は薄れ、関心度の低下が危惧される。犯罪も増えるのではないかとという声も会合の席上で上がってきている。「安全安心なまちづくり」のため、我々住民が出来ることは何かということで、我々の学区では、犬の散歩

会 議
内 容

をしている方に声掛け、有志ある方で「わんわんパトロール」を結成、単に散歩だけでなく「わんわんパトロール」の表示したバックを持ち、声を掛け、挨拶を交わしながら散歩をしている。地域の防犯意識を高めるという意味で些細な活動かもしれないが、これらの活動が積み上げられ防犯につながればと思っている。警察の活動取組を聞き、安全安心のため私たちが出来る防犯活動は何か、改めて再認識して活動していかなければいけないと感じた。

【委員】 ウェブサイトで物品購入したが、その後カード会社より、取引状況の伺いがあり、心当たりのない取引が1件あることが判明し、カードの再発行をした。後になり、私が取引したネットサイトから個人情報流出したという報道がなされ、改めて怖いなど感じている。改めてこれらサイバー犯罪については、迅速に対応、抑止につなげてほしいと感じている。

【委員】 これまで、高齢者が集まるイベント、会合等においては、警察の方からも参加いただき、積極的に注意喚起を促す、防犯対策、交通対策等の寸劇や講話があった。コロナ禍の影響で、大勢の方を集めてのイベント、各種会合等が約3年間、自粛状態になるなど厳しい状況となっていたが、警察の説明の中で、これら状況下においても創意工夫され、様々な防犯活動を実施されていることに頭が下がる思いであり、感謝したい。

【委員】 民生主任児童委員として、小さい子どもを対象として若い家庭の方と行動しているが、一人暮らしの高齢者を見守る民生委員の方とも会議を行っている。皆さん特殊詐欺への関心は高く、区役所でもらったチラシを配布したり、これまで警察署協議会で説明のあったことを紹介すると積極的な質問もあり、被害に遭わないための方策や、警察からもらった資料を配布することもできた。協議会委員となり、大変役立っていることを実感している。また、中学、高校、大学生を持つ母親として、自転車の交通ルール、自転車を盗まれないための方策等、協議会委員として、各種会合時での情報発信はもとより、家庭においても注意喚起している。自分の子は大丈夫とであっても、社会問題になっている「闇バイト」に対しても話題の中で注意したいと考えている。

先ほど、クレジットカードの情報流失について説明があったが、私の家庭でも同じく不正に使われたことが判明し、クレジットカードの再発行をした。決して人事でなく、事件が身近なところにあるということに驚き、実感している。

「見せる活動」の説明については共感した。私も警察の方を家の前

会議 内容	<p>で見掛けると「こんにちは」と挨拶すると「こんにちは」と挨拶が返ってくる。道を通るだけでも安心できるが、これら言葉の交流も大事だと感じている。これら交流の拡大、警察と地域との連携がより強固になる程、安全安心への機運へとつながるものと考え。安全安心のまちづくりを目指す各種団体があるが、単発的に活動するのではなく、相互に理解と協力を深めて活動することが大事だと考えている。</p> <p>【委員】 職場管理の中で、職場ハラスメント防止の説明もあったが、警察官は高い職業倫理が必要な厳しい職業であると思う。特に経験の浅い若い警察官がストレスを感じて悩んでいるかもしれない。どうか部下職員に限らず、職員相互において、温かい声掛けや目を配り、子どもが警察官になりたいと思える明るい警察署づくりを引き続きお願いしたい。改めて日頃の警察の活動に感謝している。</p> <p>【警察】 承知した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------	--

第4回京都府下鴨警察署協議会の開催状況

